

ものづくり人材育成通信

今年度も多くの企業の皆様に研修を受講いただきありがとうございました。

さて、昨年開催しましたマネジメント人材育成研修について、研修概要と受講された方の声を御紹介します。来年度の研修受講計画の作成にあたり、参考にさせていただければ幸いです。

「マネジメント人材育成研修」

～研修のテーマ～

ものづくり企業の経営者を対象に、柔軟な思考力・発想力を養成し、企業価値を創出して、顧客との取引拡大を実現し、企業の持続的な成長をはかり、社員一人ひとりが輝く豊かな企業づくりを目指す研修を開催しました。

第1回「企業価値を創出する①」

～研修の概要～

- 社会構造や企業環境の変化に対応して柔軟な発想力・思考力を養成し施策を立案・運用する
 - ・講師：柴田 孝氏（山形大学客員教授）
- ポストコロナ時代の速い変革に対応し、全社員が一丸となって新しい価値を創出し、持続的成長を目指す
 - ・講師：浜野 慶一氏（浜野製作所代表取締役）



<受講者の声>

- ・5年後、10年後を常に思考し、行動に移す「大局観」が勉強になりました。
- ・自己の利益ばかりを追求するのではなく、周囲（顧客、従業員、地域など。）に貢献することで、プラスのサイクルが形成されることを学びました。

第2回「企業価値(魅力)を社内外へ発信する」

～研修の概要～

- 会社案内、ホームページなど見た人が好感を持つ内容にし、社内外へ上手く見せる・伝える
 - ・講師：マンジョット・ベディ氏、小口 貴幸氏
(next is east CEO、COO)
- 企業価値(魅力)を社内外へ発信し、顧客との良好な関係を構築し取引拡大を目指す
 - ・講師：松本 晋一氏
(オーツー・パートナーズ 代表取締役社長CEO)



<受講者の声>

- ・社内、社外において、コミュニケーション力を上げるため、今日から、共感が得られる説明や意見を言うことを始めようと思いました。
- ・会社の強みを知り磨くことによって、企業価値が上がるという意味は、お客様に自分の会社で生産した製品(部品)の強み、技術、納期による「満足」を買っていただいていると考えさせられました。

第3回「企業価値を創出する②」

～研修の概要～

- 生産性向上手法（リーンシンキング～カイゼン）を学び、生産性の向上をはかる
- TWI（仕事の教え方、人の扱い方）を学び、ものづくり人材を創出して企業価値を上げる
- ・講師：成沢 俊子氏（ピーキューブ代表取締役社長）



<受講者の声>

- ・企業として、若手の人材育成などを行っていく上で、見て覚えさせるという時代ではない。そのような背景から教え方、扱い方を学んでいきたいと思いました。
- ・付加価値のある作業の重要性については、付加価値のある作業を行ってもらうことで、作業者のモチベーションにも変化が出ることに気づかされました。

第4回「企業価値を創出する人づくり・環境づくり」

～研修の概要～

- 女性社員が活躍・登用され、やりがいやチャレンジスピリットをを持って、生き活きと仕事ができる自走型の環境づくり
- ・講師：関根 近子氏（Bマインド代表取締役社長）
- 新入社員（Z世代）や若い社員が定着し、主体的に動く自走型ものづくり人材を育成する
- ・講師：伊藤 麻衣子氏（work life shift代表）



<受講者の声>

- ・ポジティブ思考、ブレイクスルー思考は、成長を推進する大切なマインドセットである。全ての組織マネジメントに通じる大切な考え方でした。
- ・決めつけ、押しつけを無くす対話術を意識すること。対話の際に無意識のバイアスを意識していきたいと思いました。

第5回「企業価値を創出し、人づくり・環境づくりを実践している事例を見学する」

～研修の概要～

- 工場見学と社長講演
- ・講師：鈴木 一徳氏（スズキハイテック代表取締役社長）
- ・講師：片桐 鉄哉氏（片桐製作所代表取締役社長）



<受講者の声>

- ・めっき技術を用いて、様々な可能性を発揮していて、無限の仕事に繋がる強みを感じました。
- ・小集団活動が活発で、特に、内容を掲示してあることで、社員全体に見える化してあることが良かったです。

～お知らせ～

令和6年4月1日より当機構は、公益財団法人山形県企業振興公社と合併し、新たに公益財団法人やまがた産業支援機構としてスタートします。

新組織における研修事業は、ものづくり人材育成の中核として、公的機関等の研修情報を発信するとともに、製造技術習得と人材の資質向上に向け、計画的、効果的に実施してまいります。引き続き御支援を賜りますようお願いするとともに、各研修課程への御参加をお待ち申し上げます。